

## 令和5年度

### 公益財団法人滋賀県水産振興協会 職員採用試験案内

1 採用職種 技師（水産技術職）

職務内容：琵琶湖魚介類（ニゴロブナ・ホンモロコ・アユ等）の種苗生産放流  
および飼育管理等

2 採用予定人員 1人

3 受験資格

(1) 次に該当する者が受験できます。

- ・学校教育法に基づく大学（短期大学を除く。以下「大学」という。）または水産大学校において、水産またはそれに関連する分野の課程を専攻若しくは専修して卒業した者（令和6年3月31日までに卒業が見込める者を含む。）で、平成元年4月2日以降に生まれた者
- ・普通自動車運転免許を有する者（令和6年3月31日までに取得見込可）

(2) 次のいずれかに該当する者は受験できません。

- ・成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）
- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

4 試験の方法

試験種目	内 容
書類選考	学歴、経歴、資格、専攻分野等についての書類選考
小論文試験	識見、思考力、表現力等についての筆記試験 テーマは、琵琶湖の水産業に関して1題で試験当日に定めます。 記述は1,000字程度、時間は1時間
面接試験	水産技術者としての知識および技能ならびに信頼性、協調性、意欲・積極性等についての面接試験

5 小論文試験および面接試験の実施

(1) 日時 令和5年9月24日（日）

受付 10時00分から10時30分まで

小論文試験 10時40分から11時40分まで

面接試験 13時00分から17時00分まで

なお、面接試験は受験申込者数に応じて、変更する場合があります。

- (2) 場所 草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津）  
草津市大路 2-1-35（草津駅東口徒歩 5 分）

6 合格者発表

試験日より 2 週間以内に、受験者全員に合否の結果を文書で通知します。

7 採用

採用試験の合格者は、令和 6 年 4 月 1 日に公益財団法人滋賀県水産振興協会の職員として採用します。

ただし、採用後 3 ケ月間は試用期間として、その間の勤務を良好な成績で遂行したときに正式に採用します。

8 給与等

令和 5 年 4 月 1 日現在の大学新卒者の給料月額額は 185,200 円で、その他に地域手当、扶養手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等がそれぞれの支給要件に基づき支給されます。また、経歴その他に応じて、上記の額に一定の額が加算されます。

9 試験の応募

(1) 応募方法

市販の履歴書（自署、写真貼付）を郵送してください。

郵送先 〒525-0005 滋賀県草津市志那町字柿根 1393 番地の 2  
公益財団法人滋賀県水産振興協会  
電話 077-568-3451

(2) 受付期間

令和 5 年 8 月 7 日（月）から令和 5 年 9 月 8 日（金）まで

郵送による受付の場合は簡易書留により送付してください。9 月 8 日（金）までの消印のあるものに限り受け付けます。

履歴書到着後、受験票を郵送しますが、9 月 20 日（水）までに受験票が届かない場合は、連絡してください。

(3) その他

受験に伴う交通費等の経費は受験者負担です。

10 問い合わせ先

公益財団法人滋賀県水産振興協会  
電話 077-568-3451 担当 遠藤、大田、吉川

## 公益財団法人滋賀県水産振興協会の概要

琵琶湖総合開発事業を契機に、在来魚介類の資源培養対策を積極的に実施して、在来魚介類の資源を維持し、水産業の振興を図るため、漁業界が中心となり、県の助成を受けて財団法人滋賀県水産振興協会が設立されました。

財団設立 昭和58年3月10日

公益財団法人移行 平成24年4月1日

### ・基本財産等

(単位：千円)

財産区分	設立時	令和4年度末
基本財産	10,000	11,000
特定資産	1,165,000	985,847
温水魚資源対策積立資産	1,165,000	757,721
鮎資源対策積立資産		10,000
水産加工業振興対策資産		200,000
退職給付引当資産		17,170
合計	1,175,000	996,847

### ・組織体制

#### (1) 役員等 (別紙名簿)

評議員 9名

理事 9名 (理事長は江島宏治滋賀県副知事)

監事 3名

#### (2) 職員

総務部 2名 (総務部長は常任理事事務取扱)

大田囑託 (再雇用)・吉川囑託 (再雇用)

栽培部 3名 (栽培部長は常任理事事務取扱)

田中栽培部次長・中新井主幹・竹岡囑託 (再雇用)

□ 琵琶湖栽培漁業センターの概要

琵琶湖における代表的な温水魚であるホンモロコ、ニゴロブナの資源の維持増進を図るため、昭和62年度から平成2年度にかけて、琵琶湖栽培漁業センターを建設した。



琵琶湖栽培漁業センター飼育池 (草津市志那町)



湖中筏 (草津市北山田)

- ・事業主体 財団法人滋賀県水産振興協会
- ・事業費 約6億円  
国 40～50%、県 25%、協会負担 25～35%  
敷地 (面積 13,385 m<sup>2</sup>) は県行政財産借受
- ・工事期間 昭和62年度から平成2年度 (4か年)

年 度	工 事 内 容	工事費 (千円)
昭和62年度	用地埋立着手, 取水槽	21,000
昭和63年度	用地埋立完了, 種苗生産棟, 揚水機場, 取水施設	178,880
平成元年度	飼育池6面, 取水施設, 管理棟	162,700
平成2年度	飼育池17面, 取水施設, 場内整備	229,430
計		592,010

・主な施設

施 設 名	規 模 等
種苗生産棟	鉄骨平屋建スレート屋根 1棟 (995.8 m <sup>2</sup> )
管理棟	鉄骨平屋建金属板 1棟 (367.87 m <sup>2</sup> )
揚水機場	鉄骨平屋建 1棟 (134.83 m <sup>2</sup> )
飼育池	鉄筋コンクリート造23面 (200 m <sup>2</sup> ×6面, 150 m <sup>2</sup> ×5面, 100 m <sup>2</sup> ×12面)
湖中筏	網生簀 (8m×8m) 47基

・固定資産

平成3年度以降も初期保育施設（筏）などを整備しており、令和3年度末の固定資産は以下のとおり。

区 分	取得価格（円）	区 分	取得価格（円）
建物	243,986,375	船舶	7,700,000
構築物	321,936,405	器具備品	105,073,243
車両運搬具	2,919,624	計	681,615,647

○ 滋賀県水産振興協会の令和5年度主な事業（総事業費：120,398千円）

財 源

財 源 内 訳	金 額（千円）	比 率
補助金	24,750	23.3%
受託費	47,634	44.9%
負担金	3,000	2.8%
寄附金	1,300	1.2%
受取利息	2,827	2.7%
雑収入	2,981	2.8%
特定資産取崩	23,618	22.3%
合 計	106,110	100.0%

(1) ニゴロブナ増殖事業（47,409千円）

- ①ニゴロブナ栽培漁業推進事業（県補助）：水田にふ化仔魚を放流し、中干時に2cm種苗を水路を通じて琵琶湖へ流下させる。
- ②赤野井湾ニゴロブナ種苗放流事業（県受託）：赤野井湾周辺の水田にふ化仔魚を放流する。
- ③調査試験標識種苗放流事業（県受託）：調査試験用に3種類の標識を付けた20mm種苗を放流する。
- ④大型種苗生産放流（県補助他）：20gに育てた種苗を冬季に琵琶湖へ放流する。
- ⑤ニゴロブナ放流用種苗供給事業（自主事業）：農業団体等への水田放流用種苗の供給

(2) ホンモロコ増殖事業（940千円）

- ①ホンモロコ種苗放流事業（自主事業）：南湖周辺の水田にふ化仔魚を放流する。

(3) 人工河川管理運用事業（33,776千円，県受託）：アユ人工河川を運用し、ふ化仔魚を琵琶湖へ流下させる。

(4) 湖づくり活動支援事業 (1,300 千円)

- ①ワタカ放流効果調査事業 (民間受託) : 水産多面的機能活動組織が放流したワタカ標識魚の放流効果を調べる。
- ②ゲンゴロウブナ標識調査事業 (民間受託) : 水産多面的機能活動組織が放流したゲンゴロウブナ標識魚の放流効果を調べる。
- ③放流種苗供給事業 (自主事業) : 民間団体の放流用種苗を生産提供する。

(5) 産卵繁殖場保全事業 (7,564 千円)

- ①沿整増殖場施設管理点検事業 (県受託) : 増殖場施設の管理点検を地元漁協への再委託事務を行う。
- ②水産多面的機能発揮協議会運営事業 (県受託) : 滋賀県水産多面的機能発揮協議会の会計事務を行う。
- ③産卵繁殖場調査事業 (自主) : ニゴロブナ、ホンモロコ等の産卵繁殖にかかる調査を水産試験場とともに実施する。

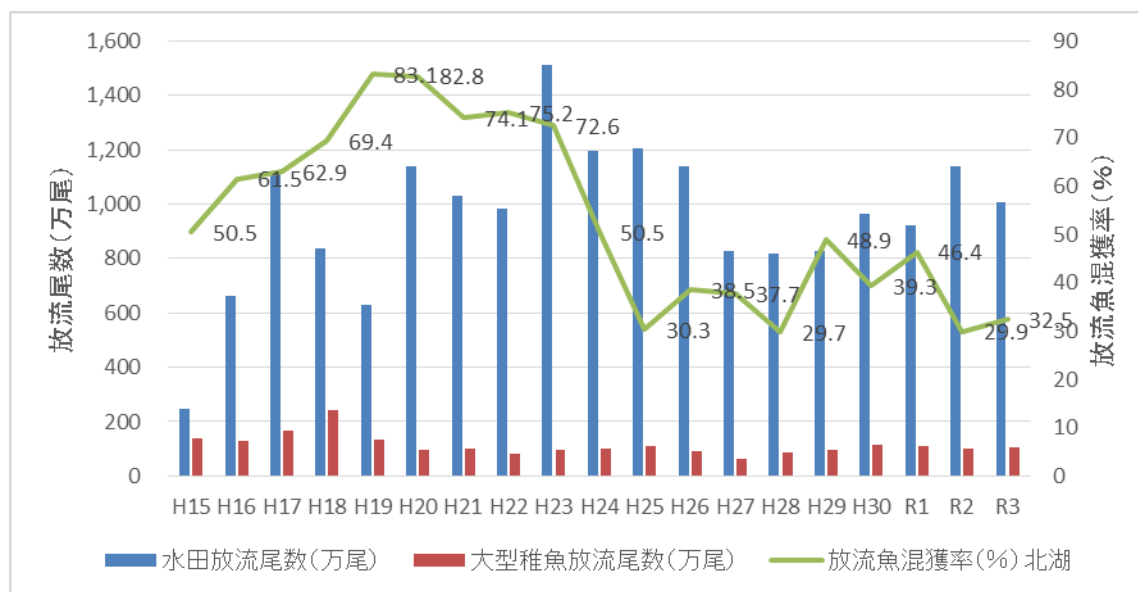
(6) 水産加工業振興対策事業 (50 千円, 自主) : 水産加工組合に対して水産加工業振興対策資産 2億円の貸付 (利率 0.025%) を行う。

(7) 情報提供事業 (224 千円, 自主) : 水振協ニュースの発行やホームページの掲載

○ 令和5年度の増殖 (放流) 計画

魚種	放流方法	放流魚サイズ	放流等計画数
ニゴロブナ	水田放流	20mm 流下種苗	8,000 千尾
	大型種苗生産放流	120mm 育成種苗	975 千尾
	赤野井湾周辺水田放流	5mm ふ化仔魚	4,000 千尾
	放流提供用種苗生産	5mm ふ化仔魚	2,000 千尾
	調査試験標識種苗放流	20mm 育成種苗	200 千尾×3
ホンモロコ	南湖周辺水田放流	5mm ふ化仔魚	2,000 千尾
アユ	養成親魚放流	養成親魚購入	8 トン
	天然親魚放流	特別採捕	4 トン
ワタカ	放流提供用種苗生産	50mm 種苗	100 千尾
ゲンゴロウブナ	放流提供用種苗生産	5mm ふ化仔魚	100 千尾

○ ニゴロブナの年度別放流尾数と放流魚混獲率



(参考)

財団法人滋賀県水産振興協会 種苗放流実績

	ニゴロブナ				ホンモロコ			アユ		ワタカ	ゲンゴロウ ブナ
	ふ化仔魚 (万尾)	春・夏稚魚 (万尾)	水田育成 (万尾)	秋稚魚 (万尾)	ふ化仔魚 (万尾)	稚魚 (万尾)	水田育成 (万尾)	親魚放流 (トン)	流下仔魚 (億尾)	稚魚 (万尾)	水田育成 (万尾)
昭和58		59				1					
59		73				11					
60		15				38					
61	1,488	25			1,408	24					
62	1,059	4			414	10					
63	180	37			158	17					
平成元	1,090	31			224	14					
2	1,647	75			0	6					
3	5,533	37			316	12					
4	5,792	521			624						
5	2,357	297			429						
6		671			253	54					
7		401			280	44					
8		710			856	24					
9		731			560			13	26		
10		829			810	23		18	28		
11		525			519	142		11	16		
12		630				97		18	30		
13		691				255		15	26		
14		719				413		20	24		
15		375	246	139		556		15	24		
16		113	661	130		296	4	8	21		
17		94	1,118	166		678	20	26	53		
18		213	837	243		433	13	10	30		
19		257	630	134		354		14	19		
20		124	1,137	95	4,180	394		14	30	7	
21		121	1,033	102	11,194	355		32	47	27	
22			983	81	12,077	410		12	19	72	
23		53	1,510	97	12,583	433	208	12	20	55	
24	210	41	1,195	103	220		1,059	21	34	59	
25	206		1,204	110	232	118	911	24	38	60	
26	210		1,140	93	203	101	835	10	18	28	
27	202		826	65	205	118	847	12	23	50	
28	204		817	87	207	101	634	12	14	31	
29	201		830	95	206	105	1,044	18	39	24	
30	202		966	114	203	111	621	18	20	22	131
令和元	205		924	109	204		930	13	25	15	136
2	202		1,139	100	606		970	12	25	17	271
3	216		1,007	106	618	11		13	27	5	284
4	420		866	109	419	11		13	34	3	262
合計	21,624	8,472	19,069	2,278	50,208	5,770	8,096	402	707	475	1,084

注：ワタカの放流には、譲渡、販売を含む。